

IRまたはカジノ

吉田 真人

八月末に横浜市長選挙が行われた。重要争点の一つがIRの誘致で、反対論者は、IRの中のカジノがギャンブル依存症を増やし、また治安や風紀を乱す、と主張した。

以下は幾つかの都市で風紀を乱した事のある者としての経験である。幸いギャンブル依存症にはなっていない。

ロンドン駐在時に、イスポーツクラブの会員になった。ここでのスポーツは冒険を伴う、賭博的などという意味である。ロンドン中心街には幾つものカジノがあり、中でもこのクラブはバークレイスクエアという閑静な高級地にあった。客は中東のオイルマネーやアフリカの開発援助の享受者で、英国人は稀、中国人もまだいなかった。

入会して暫くの後、ビギナーズラックで程々の勝ちを収め、ポケットにポンド紙幣を入れて帰った。次の日家の近くを歩いていたら、BMWの販売店があり、まだ車を買っていないだったので冷やかし半分に入ると、妙齡のアイルランド系女性が対応してくれた。ミニマムの手付金を聞くと、何とポケットのポンドと略同額、即刻取引成立。この車は故障もなく三年強多いに活躍した。

毎年九月に欧州石油化学協会の年次総会が開催される。同業者との重要な情報交換の場であり、場所が風光明媚なモナコでもあるので、何回か参加した。夕食後にはカジノで散財がお決まりのコースで、十九世紀築の重厚な建物のカジノ・モンテカルロは、見学だけでも価値がある。ある年、何故か幸運が重なり、それなりのフレンチフランを獲得した。ホテルはやや離れた場所にあり浜辺に行くのが近道だ。深夜近くに恐る恐る帰ったが、襲われなかったのは、大した金額ではなかったのか、あるいは金を持っているとは見えなかったのだろう。フランと円の現地交換比率は極悪なので、同行者のホテル代の立替え払いをする等、フラン消費に苦労したのは誠に愉快な経験だった。

横浜市長選挙はIR反対派が勝利し、「モンテカルロの夢よもう一度」の機会を失ってしまったのは残念だ。